

勝山市観光振興ビジョン

第1章 勝山市が目指す観光の姿

1-1. 策定の趣旨

勝山市は、平成14年10月に策定した「勝山市エコミュージアム(注1)推進計画」によって、市民が地域に埋もれていたさまざまな遺産を再発見し、それを活用するまちづくりを支援してきました。

その結果、市内各地に残る自然、歴史、産業、文化など、地域が長い歴史の中で蓄えてきた伝統の力が、地域の魅力として自信と誇りを持って発信されるようになってきました。

このまちづくりの力をさらに高めるとともに、「国史跡白山平泉寺旧境内」の発掘整備や、地質・地形遺産をアピールする「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク(注2)」、左義長まつりをはじめとする勝山市に根ざす伝統文化などを推進する市民力の向上に繋げていきます。

観光振興ビジョンは、まちづくりの成果である地域の人材や恵まれた地域資源を観光振興の分野で活かしていくため、勝山市の観光の現状を分析し、課題を洗い出すことで今後の観光政策の方向性や戦略の指針とするものです。

(注1)エコミュージアム

1960年代にフランスで誕生したまちづくりの手法。ある一定の地域に残された史跡や建造物などに着目し、これらを将来にわたって展示、活用することでその地域を「屋根のない博物館」とする構想。

(注2)ジオパーク

地質・地形など地球活動の遺産を主な見所とする自然の中の公園。ユネスコの支援を受けている世界ジオパークネットワークにより、世界各国で推進されている。日本では日本ジオパークネットワークが組織されている。

1 - 2 . 基本理念

市民は全員学芸員！(注 3)

来て、観て、触れて、魅力満載！「まちはまるごと博物館」

(注 4)

1 - 3 . 将来像

太古の時代から今日まで続く大地の営み、悠久の歴史の中で地域住民が培ってきた自然・歴史・産業遺産や伝統、文化など、エコミュージアムにより再発見された地域資源を勝山市の個性としてさらに磨いていきます。

地域がいきいきと躍動するこの態様そのものを魅力に高めて広くアピールし、来訪者を笑顔でもてなします。

(注 3)市民は全員学芸員

観光振興には市民の力が必要であるということを基本とし、市民ひとりひとりが、地域の自信と誇りを持って、来訪者へ笑顔でもてなしをすることを表現しています。

学芸員・・・博物館などで展示及び調査研究等を行う専門的知識を有する職員。

(注 4)まちはまるごと博物館

エコミュージアムで培ってきた市民の力と数多くある自然・文化・産業・歴史などの地域資源がすべてを観光素材として活かし、地域経済の活性化につなげていくことを表現しています。

1 - 4 . 観光の現状

(1) 観光を取り巻く背景

近年、人々が求める旅行や観光の形態が次のとおり変化してきています。

地域固有の文化や地域の資源に対する関心の高まり

地域固有の資源や文化に観て触れて体験する旅行への関心が高まってきています。

団体旅行から個人旅行、家族旅行へのシフト

これまでの貸し切りバスによる団体旅行から、家族単位や少人数グループによる自家用車や公共交通機関を利用した個人旅行に比重が移ってきています。

パッケージ旅行から趣味やこだわり重視の本物志向へのシフト

人々の価値観が多様化する中、趣味やこだわりが重視され、旅行会社が企画募集するパッケージツアーから、地域固有の文化や地域資源に触れることができる体験型観光やテーマ型観光へのニーズが高まってきています。

成熟世代(注 5)と女性グループの増加

会社生活から離れ時間に余裕ができた成熟世代や女性だけのグループ旅行が増加しています。

アクセス向上による観光の広域化

高速交通網の整備が進み、高速道路料金の値下げなどと相まって、国内観光地へのアクセスが向上し、観光客の行動範囲も広域化の傾向にあります。

東アジアを中心とする外国人旅行者の増加

経済発展とともに中国や台湾を中心とする東アジア地域から日本への観光客が増加しています。

(注 5)成熟世代

退職後の第2の人生をアクティブに過ごしている、あるいは過ごしたいと考える方々を表現する勝山市でつくられたことば。

(2) 国県の動向

ア. 国の動向

国は、訪日外国人旅行者の促進のため、平成15年4月から「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を開始しました。そして平成18年に、地域経済の活性化、雇用機会の増大、国民の健康増進、潤いのある豊かな生活環境の創造、国際相互理解の増進等を目的に「観光立国推進基本法」を制定し、これに併せて、具体的な目標を設定するとともに、施策を推進するための「観光立国推進基本計画」を定め、様々な観光推進施策の展開を図っています。

【「観光立国推進基本計画」で定められた目標】

No	目標項目	目標年度と数値（現状）
1	訪日外国人旅行者数	平成22年度までに1,000万人(H18 733万人)
2	日本人の海外旅行者数	平成22年度までに2,000万人(H18 1,753万人)
3	国内の観光旅行消費額	平成22年度までに30兆円(H17 24.4兆円)
4	国内観光旅行宿泊数	平成22年度までに年間4泊(H18 2.77泊)
5	国際会議の開催件数	平成23年度までに5割以上の増(H17 168件)

イ. 福井県の動向

新ビジットふくい推進計画（平成21年度～25年度）

県では、国の観光立国の動きに併せ、観光振興を通じた地域経済の活性化や観光交流による県民の意識向上などを図るため、「新ビジットふくい推進計画」を定めました。

【新ビジットふくい推進計画の概要】

基本理念「ほんもののふるさと 越前・若狭」

基本戦略

- ・みがく ～観光地の活性化～
- ・たかめる ～推進体制の強化～
- ・そだてる ～観光の人づくり～
- ・しぼる ～対象を絞ったアプローチ～
- ・つたえる ～情報発信の質と量の強化と優れた文化の次世代への継承～

【目標項目及び目標数値】

No	目標項目	目標年度と数値（現状）
1	観光客数	平成25年度までに1,100万人(H19 993万人)
2	観光消費額	平成25年度までに1,000億円(H19 809億円)
3	教育旅行受入数	平成25年度までに3万人(H19 9,889人)
4	外国人客数	平成25年度までに10万人(H19 26,580人)

観光振興に向けての 国、県の動き

平成 1 5 年...訪日外国人旅行者促進

(国) ビジット・ジャパン・キャンペーン

(県)「ビジットふくい推進計画」
(平成 1 6 年度～平成 2 0 年度)

平成 1 8 年...「(国)観光立国推進基本法」

↓ 地域経済活性化、
雇用機会増大他)

平成 1 9 年...

(国)観光立国推進基本計画

↓ 取り組み体制の整備)

平成 2 0 年...

観光庁の設置

平成 2 1 年... (県)

新ビジットふくい推進計画

(3) 勝山市の現状

ア、全国に誇れる観光素材、観光施設に恵まれている

福井県立恐竜博物館の年間入館者が50万人を突破

日本で唯一、世界有数の博物館として、学術的にも高い評価を受けている福井県立恐竜博物館は、開館10周年を迎えた平成22年度には入館者が50万人を突破し、市内で最も観光客の多い施設です。

国内で発見された恐竜化石の8割が杉山で発掘

勝山市は国内で最大の恐竜化石発掘地です。平成元年から続く福井県の発掘調査事業によって、フクイラプトルなどの命名や全身骨格の復元など多くの発見がありました。

清大寺越前大仏は建造物の規模において日本一

昭和62年に落慶した清大寺越前大仏は、本殿・大仏ともに奈良東大寺を凌ぐ規模です。さらに日本一の高さの五重の塔や中国の国宝第1号を再現した九龍壁など近代工法と現代芸術の粋を凝らした荘厳な建造物が建ち並んでいます。

勝山城博物館には貴重な歴史資料が収蔵されている

日本一の高さを誇る勝山城博物館には、鎌倉時代の重要刀剣をはじめ、日本全国から集められた、大変貴重な歴史的文化遺産や中国清代民間伝統刺繍佩飾品が展示されています。

国史跡白山平泉寺旧境内は第1級の歴史遺産。ガイダンス施設の完成が間近に迫る

西暦717年に白山を開山した泰澄により創建されたとされる平泉寺は、最盛期には白山信仰の拠点として大きな勢力を誇っていました。

平成元年度から始まった発掘調査により、中世宗教都市のものとしては、国内最大級の遺構が確認されており、平成24年にはガイダンス施設が完成予定です。

スキージャム勝山は西日本最大級の規模とサービスを誇る通年型リゾート施設

西日本最大級の規模を誇るスキージャム勝山は、スキー人口が減少する中でも、堅実にスキー客の入込を維持しています。また、グリーンシーズンの誘客にも力を入れており、通年型のリゾート施設として、関西圏を中心に人気を集めています。

加越国境連山等への登山者が増えている

水芭蕉群生地のある取立山や、赤兎山、大長山など加越国境の山々への登山者が増えてきています。

イ．エコミュージアムにより地域の魅力が再発見された

地域の遺産が発掘され、地域の誇りが復活した

わがまち元気発掘事業、発展事業、創造事業のこれまで9年間の取り組みによって、地域の遺産が多く発掘されています。

市民の力で地域資源を継承し、新たな魅力が創造された

エコミュージアムにより発掘された地域遺産は、市民により継承され新たな魅力も創造されてきています

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークが日本ジオパークとして認定された

平成21年に勝山市全域をエリアとする「恐竜、恐竜化石」をメインテーマとする「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」が日本ジオパークに認定されました。

左義長・年の市など誘客力のあるイベントの魅力が高まってきている

300年以上の歴史を誇り、独特の太鼓演舞で奇祭と呼ばれる勝山左義長や、江戸時代からの市を今に伝える年の市には、その魅力の高まりにより多くの観光客が訪れています。

世界で9番目にクリーンな（きれいな）都市として外部から評価された

平成19年にアメリカの経済紙「フォーブス」電子版で、世界のクリーンな都市の9番目、日本では1番に勝山市がランクインしました。

かつやまをきれいにする運動等により、環境保全・景観意識が高揚した

かつやまをきれいにする運動等の広がりによって、九頭流川クリーンアップや地域での環境保全の取り組みが進み、市民の環境や景観に対する意識が高揚しています。

農業体験や自然体験の素材が充実している

各種農産物や酪農を利用した体験、また恐竜化石発掘体験など豊かな自然、歴史資源を利用した体験などができる多くの素材が充実しています。

ウ．まちなかの拠点整備が進んだ

ゆめおーれ勝山が整備され、年間入館者が１１万人を突破した

平成１９年に国の近代化産業遺産に認定され、平成２１年７月に整備された、はたや記念館ゆめおーれ勝山は「繊維のまち・勝山」の魅力を紹介する、まちなか誘客の拠点施設として、年間１１万人を越える入館者がありました。

高質化舗装や歴史的街並みの復活により中心市街地の街並み景観が再生されている

本町通りや河原町通りなど景観に配慮した舗装の高質化や町屋の建物を保存していく取り組みにより、後世に残し伝えることができる歴史的街並みが蘇ってきています。

ゆめおーれ勝山、勝山駅前広場等の整備が進んでいる

はたや記念館ゆめおーれ勝山や国の登録有形文化財「勝山駅舎」を中心に、駅前広場などの周辺整備が着々と進められています。

全国まちの駅連絡協議会に３７駅が加盟

まちなかの案内・休憩機能を担う、勝山まちの駅ネットワークには３７駅が加盟するまでになっています。

まちなかに空き店舗が増え、居住者の商業者としての意識が希薄化し、商店街としての機能が低下している

市内中心商店街では、郊外に大型店舗の立地が進み、商店街としての機能が低下してきているとともに、空店舗が増えてきています。

まちなかに、観光客のニーズに応えられる飲食・土産施設が少ない

勝山市には年間１５０万人の入込み客があるが、観光客のニーズに合った土産物が少なく、特に観光客をもてなす食事処が不足しています。

エ．観光関係者間の連携が不足している

市内の観光関係組織・業者の役割分担と連携が不足している

既存の観光関係者だけでなく、いろいろな素材を持っている者との幅広い連携が不足しています。

複数の枠組みによる広域観光が錯綜している

福井坂井奥越広域観光や越前加賀広域観光事業など、従来の奥越地域や環白山地域を越えた広域連携による観光事業が推進されています。

恐竜、平泉寺など勝山を素材にした商品、土産物が少ない

観光客の求める、地元素材を活かした商品や土産物が少なく、新たな物の開発も進んでいません。

蕎麦以外の地元素材を使った魅力ある食事メニューが少ない

観光客の求める、地元素材を活かした魅力ある食事メニューの開発も進んでいません。

(4) 観光に関する市民の意識

以下のアンケート結果は、これからのまちづくりについて市民の意見を把握し、第5次勝山市総合計画をはじめとする各種計画の策定のための基礎資料とすることを目的に実施したものの中から、観光振興関連項目を抜粋したものです。

調査期間：平成21年12月24日～平成22年1月18日

Q1. 勝山市が「好き」ですか「きらい」ですか。

A1. 好き ...34.8%

好きなのところもあればきらいなのところもある ...58.0%

Q2. 快適で活気あるまちづくりを進めるためにどのような協力ができますか。

A2. 左義長など伝統芸能の普及や継承および夏まつりなどイベントの企画や運営への参加 ...20.9%

Q3. エコミュージアムを推進するために今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

A3. 自然環境を活かしたまちづくり ...38.8% (第1位)

恐竜資源を活かしたまちづくり ...33.5% (第2位)

地域の特産品を活かしたまちづくり ...30.6% (第3位)

Q4. 「働く場の確保」に向けて、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

A4. 観光産業の振興 ...29.5% (第2位)

Q5. 農業・水産業を振興するために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

A5. 観光と連携した体験型農業の推進 ...16.7%

Q6. 商業を振興するために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

A6. イベント開催や商品券の発行などによるにぎわい創出への支援

...33.1% (第2位)

農林水産業者と商工業者が連携して取り組む事業への支援 ...17.3%

Q 7 . 地域固有の文化を活かすために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

- | | |
|----------------------------|----------------|
| A 7 . 左義長や年の市などの伝統行事の保存と活用 | ...38.1% (第1位) |
| 「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」の推進 | ...26.3% (第2位) |
| 地域の自然景観の保存と活用 | ...20.1% (第3位) |
| 地域の名所・旧跡や歴史的建造物の保存と活用 | ...15.9% |
| 繊維など産業遺産の整備・活用 | ...4.9% |

Q 8 . 観光を推進するために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| A 8 . 各観光施設が連携した観光の推進 | ...30.0% (第1位) |
| 積極的な情報の発信 | ...27.1% (第2位) |
| 観光客用の土産物や昼食場所の充実 | ...23.9% (第3位) |
| まちなかへの誘客促進 | ...19.7% |
| 「ゆめおーれ勝山」を核とした観光の推進 | ...14.2% |
| 修学旅行や学生合宿の誘致 | ...14.0% |

(5) 観光資源の状況

勝山市は、豊かな自然環境と悠久の歴史に育まれた独自の文化を継承・発展させてきました。それらを地域資源として再認識することで、郷土への誇りと愛着を醸成していきます。

ア．歴史遺産

国史跡白山平泉寺（白山神社、旧境内発掘現場、白山禅定道）

国重要文化財旧木下家住宅、県史跡三室遺跡



（ ↑ 平泉寺と発掘された石畳道 → ）



（ 旧木下家住宅 ）

イ．自然遺産

加越国境の山並と溪流・滝、九頭竜川、弁天桜並木、ミズバショウ群生地
市の花サツキ



（ 九頭竜川から白山を望む ）



（ 取立山の水芭蕉群生地 ）



（ 弁天桜並木 ）

ウ．産業遺産

はたや記念館ゆめおーれ勝山、国登録文化財えちぜん鉄道勝山駅、テキ 6
旧中尾発電所第 1 号発電機など近代化産業遺産群



（ はたや記念館ゆめおーれ勝山 ）



（ ゆめおーれ勝山織機の展示 ）



（ えちぜん鉄道勝山駅 ）

エ．民族文化の遺産

年の市、左義長まつり、谷のはやし込み、お面さんまつり
観音さまのおすすめ



(↑左義長まつりと年の市→)



(谷のはやし込み)

オ．地質地形遺産

福井県立恐竜博物館、かつやま恐竜の森、恐竜化石発掘地
大矢谷白山神社の巨大岩塊、七里壁



(福井県立恐竜博物館)



(恐竜博物館内展示)



(かつやま恐竜の森での化石発掘体験)

カ．リゾート施設等

スキージャンプ勝山、雁が原スキー場、清大寺越前大仏、勝山城博物館
東山いこいの森、岩屋オートキャンプ場、温泉センター「水芭蕉」
大清水公園、まちなか



(スキージャンプ勝山)



(清大寺越前大仏)



(勝山城博物館)

カ．達人たちの技、食文化

報恩講料理、おろしそば、鮎料理、勝山水菜、里芋、地酒、おやき
鯖の熟れ寿し、若猪野メロン、西ヶ原ニンニク、エゴマ、
発酵食品（みそ、醤油、漬物）



（勝山水菜）



（鯖の熟れ寿し）



（えごま油）

キ．にぎわい創出イベント

うまいもん祭、勝ち山夏物語、弁天桜まつり



（弁天桜まつり）



（秋のうまいもん祭）



（勝ち山夏物語）

ク．人の営み

エコミュージアムにより醸成された、郷土への誇りと愛着を持って、生き生きと活動する市民



（観光ガイドボランティア活動の様子）